

SAFETY

安全性能

スポーツカーだからこそ、大きな安心を。

普段もいざというときも、頼りになる備えをしっかりとっておきたい。
この先もずっと走りを楽しむために、先進の安全性能を搭載した。



進化を続ける先進の予防安全パッケージ。

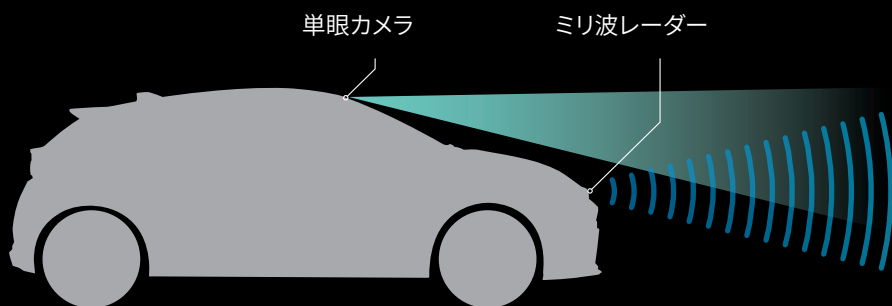
Toyota Safety Sense



POINT 1 先進機能が、多くの状況でドライバーをサポート。

- プリクラッシュセーフティ……ぶつからないをサポート
- レーンレーシングアシスト……高速道路のクルージングをサポート
- レーンディパーチャーアラート……はみ出さないをサポート
- レーダークルーズコントロール……ついていくをサポート
- オートマチックハイビーム……夜間の見やすさをサポート
- ロードサインアシスト……標識の見逃し防止をサポート
- 発進遅れ告知機能……先行車・信号出遅れ防止をサポート

POINT 2 2種類のセンサーで高い認識性能と信頼性を両立。



⚠ Toyota Safety Senseを安全にお使いいただく上での留意事項説明

Toyota Safety Senseは予防安全パッケージです。ご契約に際し、Toyota Safety Senseおよびその各システムを安全にお使いいただくための留意事項についてご説明いたします。(ご使用になる際のお客様へのお願い) ■運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。■各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。■ご使用前には、あらかじめ取扱説明書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。■お客様ご自身でプリクラッシュセーフティの作動テストを行わないでください。対象や状況によってはシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ソフトウェアアップデート

Toyota Safety Senseの一部プログラムは、DCMによる無線通信により、販売店に入庫することなく最新のソフトウェアに更新できます。この更新により最新の安全機能を提供します。

※ソフトウェアの更新がある場合、ディスプレイオーディオに通知画面が表示されます。画面の指示に従ってすみやかに更新してください。

※お客様の安全や車両の保安基準に関わる重大なソフトウェア更新が必要になった場合には、お客様の更新の許諾の有無にかかわらず、自動でソフトウェア更新を行うことがあります。また、この場合にお客様が許諾していなかった他の機能も含めて最新バージョンに更新される場合があります。

※ソフトウェアを更新すると、各機能の取り扱い方法が変わったり、機能が追加されることがあります。変更・追加された内容は、toyota.jp内の取扱説明書ページにある最新の取扱説明書で確認することができます。 ※無線通信によるソフトウェアアップデートはT-Connect契約が必要です。

レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーンレーシングアシスト[LTA]の留意事項

■レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーンレーシングアシスト[LTA]は自動で運転する装置でも周囲への注意を軽減する装置でもないため、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ステアリング操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。■故意に車線から逸脱して走行するなど、各システムの作動を確認する行為はたいへん危険です。絶対におやめください。■安全性の観点から、ドライバーはステアリングを持ち続ける必要があります。手を放すと、レーンレーシングアシスト[LTA]が停止します。■例えば次のような条件下では、レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーンレーシングアシスト[LTA]が正常に作動しないおそれがあります。●車線または走路の認識が困難なシーン(悪天候、逆光、濡れた路面、線がかすれている、急カーブ、急勾配、分合流付近など)●タイヤに変化がある時(応急用タイヤ、タイヤチェーン装着時など)■例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされずレーンディパーチャーアラート[LDA]、レーンレーシングアシスト[LTA]の作動をキャンセルする場合があります。●車線を見失った時●ドライバーの追加運転操作を検知した時(ステアリング、ブレーキ、アクセルの操作など)など■レーンディパーチャーアラート[LDA]は約50km/h以上で作動します。路外の構造物に対しては約35km/h以上で作動します。ただし、レーンレーシングアシスト[LTA]支援中は約50km/h未満でも車線逸脱警報機能が作動します。■作動車速以上で走行しドライバーの目で車線が見える場合でも、山間部や市街地などに見られる次のような状況では、レーンディパーチャーアラート[LDA]が作動しない、または安定して作動しない場合があります。●急カーブや急勾配を走行する時●車線幅が狭い、または変化している時など■レーンレーシングアシスト[LTA]が先行車に追従する支援を行う場合、先行車が車線を右、または左に片寄って走行、または車線変更した時は、先行車の位置に合わせて自車も片寄って走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。先行車がふらついた時は、自車もふらついて走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。

安全性能(セーフティ)の詳細はこちらから

<https://toyota.jp/gryaris/safety/>



GRヤリス(除くRC + Aero performance package GR-DAT [8AT]車、RC GR-DAT [8AT]車)は「セーフティ・サポートカーS(ワイド)」です。

セーフティ・サポートカーS(ワイド)(サポカーS(ワイド))は、政府が交通事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違え時加速抑制装置など安全運転を支援する装置を搭載し、高齢者を含むすべてのドライバーの安全をサポートします。

■安全運転を支援する装置は、あくまで運転を支援する機能です。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。

●:標準装備

安全性能 装備一覧表		RZ“High performance” + Aero performance package		RZ“High performance”		RZ		モータースポーツ参戦用車両 RC + Aero performance package		モータースポーツ参戦用車両 RC	
		GR-DAT (8AT)	6MT	GR-DAT (8AT)	6MT	GR-DAT (8AT)	6MT	GR-DAT (8AT)	6MT	GR-DAT (8AT)	6MT
プリクラッシュセーフティ	直進時の車両・歩行者検知機能	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	「交差点」右折時の対向直進車・右左折時の横断歩行者・自転車 ^{*1} 検知機能	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	「交差点」出会い頭時の車両・自動二輪車 ^{*1} 検知機能	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	緊急時操舵支援機能	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	低速時加速抑制機能	●	—	●	—	●	—	●	—	●	—
Toyota Safety Sense	レーダークルーズコントロール (全車速追従機能付/ 停止保持機能なし) [GR-DAT (8AT)]	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	レーダークルーズコントロール (ブレーキ制御付) [6MT]	●	—	●	—	●	—	●	—	●	—
レーントレーシングアシスト [LTA]	車線維持支援機能	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
レーンディパーチャーアラート [LDA]	車線逸脱警報機能 / 車線逸脱抑制機能	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ロードサインアシスト [RSA]	道路標識告知/赤信号告知	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
オートマテックハイビーム [AHB]		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
発進遅れ告知機能 [TMN]	先行車告知/信号切り替わり告知	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ブラインドスポットモニター [BSM]		●	●	●	●	●	●	—	—	—	—
安心降車アシスト [SEA]		●	●	●	●	●	●	—	—	—	—
セカンダリーコリジョンブレーキ [SCB]		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
パーキングサポートブレーキ(前後方静止物)		●	—	●	—	●	—	—	—	—	—
クリアランスソナー&バックソナー		—	●	—	●	—	●	●	●	●	●
パーキングサポートブレーキ(後方接近車両)		●	—	●	—	●	—	—	—	—	—
リヤクロストラフィックアラート		—	●	—	●	—	●	—	—	—	—
ドライブスタートコントロール		●	—	●	—	●	—	●	—	●	—
バックガイドモニター		●	●	●	●	●	●	—	—	—	—

*1.人が乗車している状態を作動対象としています。 ■装備類の詳細い設定は、P47-50の主要装備一覧表をご覧ください。